

登場人物同士の関わりを考えて読もう

「なまえつけてよ」

- 目標
- 登場人物の心情が描かれている表現を見つけよう
- 春花の心情の変化を読み取ろう

「なまえつけてよ」を読もう

●どんなお話でしたか？

・書き方の例

「○○なお話でした。なぜなら、(教科書の内容を具体的に引用して書く)から……だったからです。他にも……(理由は○○○○○○○○○○)」「

例

やさしいお話だと思いました。

なぜなら、登場人物が相手の気持ちを

考えて行動しているからです。

20ページで目を合致ない勇太、

21ページで「ふい」と向きを変え、る勇太、

でも春花は責めたりしません。

26ページで「いいんですー。それならしかたないですね。」

と答える春花をじっと見る勇太と隣。

そして、「なまえつけてよ」と書かれた紙を折った馬を

わたす勇太。心の中で「ありがとう」とつぶやく春花。

登場人物の心の動きがよく分かるやさしいお話だと思いました。

二 登場人物について考えよう

●春花はどんな子ですか。

例

寺で馬を飼っている。人との関わりがたい。
牧場のおぼえ、近所のおぼえさん、などいろいろなから
自然に人づき合いが増えているから。
また、何気ないことにも興味を示す子。
21ページで「どうた名前つけてよ」と言われてから
近所のおぼえにほんすけの名前を聞いたり、ふさんの
中で名前を考えたりにしているから。

●勇太はどんな子ですか。

人見知りで、ふきらぼう。スポーツ好き。
でも本当はやさしい。
20、21ページでは、春花になれてほいのか、ふきら
ぼうな態度をとっているが、26ページでは春花の
悲しんでいるのに明るくふるまおうとしている気もち
に気付いた。そして「なまえつけよう」と書いた
紙で折った馬をわたしているのがやさしい子。

三 登場人物の変化について考えよう

●最初、春花は勇太をどのような子だと思っていましたか。

20-21ページの語りから
・あまりしゃべらない
・目を合さない、ただ足元を見ている
・すぐ目をそらす
・ぶいっと向きを変えて
などの態度から、「何エソの態度」と
よく分からぬ、いやな態度をとる子だと思っていた。

●勇太との関わりを通して、春花は勇太をどのような子だと思うようになりましたか。

26ページの
「勇太ってこんなところがあるんだ」の一文から、
悲しんでいる人をなぐとめられる子
友達とえげにサッカーをする子
などいろいろなところがある子だと思っようになった。
感謝している。

四 題名の「なまえつけてよ」にはどんな意味が込められていると思いますか。

最初は、子馬の「なまえつけてよ」かと思ったが、
実は、真太のつくった紙で折った小さな馬に書かれ
た、「なまえつけてよ」の字だったことが分かった。
題名には、真太と春花の気持ちが通じたことや
春花が真太のことを理解したという意味が込められている。

五 「なまえつけてよ」を読んでみた感想を書きましょう。

この話は、春花の成長の話を思った。
子馬との出会い、様々な人との関わりで、
気持ちも色々とおかしくなった。その結果、最後には、
真太の新たな一面も見付けることができた。
春花は、真太からもらった小さな馬の折り紙に
よって、真太のやさしい一面を見付けられたし、
「ありがとう」としからまじく思うことができた。
とてもいい話だったと思う。